



平成 19 年 10 月 25 日

各 位

会 社 名 アルゼ株式会社  
代表者名 代表取締役兼最高経営責任者(CEO)  
余語 邦彦  
(JASDAQ・コード 6425)  
問合せ先 取締役 堀 義人  
電 話 03-5530-3055 (代表)

### 当社子会社（株式会社セタ）の過年度決算の 訂正に伴う当社の過年度決算に与える影響について

当社子会社である株式会社セタは、本日、平成19年3月期決算短信及び平成19年3月期中間決算短信の一部訂正を発表いたしました。併せて、同社は同日付で平成19年3月期の有価証券報告書及び半期報告書の訂正報告書を提出いたしました。

この訂正が当社の平成19年3月期決算に与える影響につきましては、現時点では未確定であります。仮に当社が平成19年3月期決算短信及び平成19年3月期中間決算短信の訂正を行った場合は、次ページ【当社の平成19年3月期決算に与える影響】のとおり軽微であると考えております。

#### 記

##### 【これまでの経緯】

株式会社セタは、平成 19 年 8 月 23 日付「過去の業績に影響を与える可能性のある事象の発生及びこれに伴う平成 20 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況発表予定日延期のお知らせ」において、同社の平成 19 年 3 月期の決算に関して、本来平成 20 年 3 月期に計上されるべき売上の一部が、平成 19 年 3 月期に計上されている可能性があることが判明したことを発表いたしました。

その後、平成 19 年 10 月 2 日付「平成 19 年 3 月期の売上処理についての調査結果のお知らせ」において、同社の社内コンプライアンス委員会を中心に外部有識者の意見も求めながら詳細な調査を行い、その結果について発表いたしました。調査の結果、同社の平成 19 年 3 月期決算に関して、元専務取締役の強い指示・命令と、これを積極的に容認した元代表取締役の行為により、同年 3 月度に未確定受注というべき取引が売上高として計上され、これを適正な売上高として計上するために原始証券を含む一部の書類が偽造または改ざんされ、不適切な決算処理が行われていたことが判明いたしました。平成 19 年 3 月期の売上高のうち、本来、平成 19 年 3 月期に計上すべきでない売上高は、調査の結果、概算で 800 百万円程度であることが判明いたしました。

この金額につきまして、さらに精査を進めた結果、本日、金額が確定いたしましたので、株式会社セタより「平成 19 年 3 月期決算短信（連結・個別）及び平成 19 年 3 月期中間決算短信（連結・個別）の一部訂正に関するお知らせ」が発表されました。併せて同社より平成 19 年 3 月期有価証券報告書の訂正報告書及び平成 19 年 3 月期半期報告書の訂正報告書が関東財務局に提出されました。

【当社の平成19年3月期決算に与える影響】

(単位：百万円)

	当社 平成19年3月期実績 (連結) (A)	株式会社セタ 平成19年3月期決算に 影響する金額 (B)	当社の平成19年3 月期決算に与える 影響 (%) (B/A)
売上高	36,387	△806	2.22
営業利益	△2,791	△298	—
経常利益	△6,349	△298	—
当期純利益	9,453	△298	3.15

(注) 営業利益及び経常利益に影響を及ぼす割合につきましては、当社連結実績が赤字であるため、算出しておりません。

今後、当社の平成19年3月期決算及び平成19年3月期中間決算の訂正の必要性につきましては、関係諸機関と協議して決定する予定であり、確定次第、発表いたします。

以上